

◆モーニング娘。コンサートツアー2008 春 シングル大全集!!◆
2008. 5. 18 東京厚生年金会館 夜 (FINAL in Japan) レポ。



「いよいよ来ました！」という気持ちと、
「あっという間・・・」の名残惜しさの両方を感じながら、
朝早くこの場所に着きました。
この場所は、初期の頃では初めての卒コン(1999)が行われた場所
であり、最近ではまだまだ記憶に新しいガキさん19th生誕コン、
“おかえりりん祭”、BOMB ツアーのFINAL などなど、
ファンの新・聖地となりました。

そして2008年初夏、
娘。春ツアーのラストでは・・・なんと！

1人1人の力で・・・最後の最後に、
さらなる感動の1ページが待ってたんです！
それでは、レポートのスタートです！！

01. リゾナント ブルー(36th/2008. 4 発売)

言わずと知れた最新シングル。娘。シングル路線の中では珍しく貴重なダンスチューン。ガキさんのソロパートは少ないものの、「WOW WOW ♪」といったコーラス部分を中心にメインボーカルを引き立たせて頑張ってますね。この日のガキさんは前髪を編んだストレートで、おでこを出してました。でも・・・出来れば1回で良いので、あのPV通りに前髪を上げた髪と黒い衣裳の組合せを見てみたかったですね。ちょっと心残りの気もしますが・・・(ちなみに5/11のイベントではお披露目したようです)。

02. 女に 幸あれ(34th/2007. 7 発売)

現在の9人娘。になって最初のシングル。激しい曲調の中、みんなで手を上げたりメンバーになりきったりと様々ですね。ここではガキさんがグッと前に出るシーンがいくつかあるのですが、こうしたナンバーだと精悍な表情がすごくカッコよくて・・・カワイイ部分とはまた違う、ガキさんを見る事が出来たと思います(^)。

03. MC 1

メンバー映像後の大歓声に包まれながら、ステージ上に左からガキさん→ジュンジュン→みっついい→さゆみん→れいなちゃん→小春ちゃん→えりりん→リンリン、そしてリーダーの愛ちゃんの順に並んでいて・・・みんな素敵な笑みを浮かべてます。続いて、「4/16に発売になった”リゾナント ブルー”で華々しく幕を開けました！モーニング娘。コンサートツアー2008 春 シングル大全集う～FINAL!!!! 今日みなさんと楽しいコンサートにしたいと思います！どうぞよろしく！」とガキさんの元気な声が響き渡ると・・・割れんばかりの大歓声に再び沸く場内。周囲を見渡せばそのほとんどが埋まり、緑や黄、ピンクや青など・・・数あまたのサイリューム光が揺れている・・・この辺りはさすがファイナル！といった印象ですね。他のメンバーでは、ジュンジュンが「ハリキります！」や、みっついいが「ちょっぴりレディーな自分を見せます！」だったり、「あ～っついコンサートになるコト間違い無いので・・・ノボせないで下さい！」と1,2階席それぞれにエールを贈るさゆみん、「ヤッピィ～♪」とオチャメな表情で明るくご挨拶をするれいなちゃん、ヒサブりに元気良く「Y e a h × 2 !!!」と小春ちゃん、かといえば、「今日の出逢いを大切に最高の思い出を作りましょう！」と爽やかな声で語るえりりんが居たり、「(娘。に入っ)て1年が立ちました！頑張ります!!」と髪を肩くらいまで切ったリンリンが、いつものゴキゲンな様子で気合いを入れたり・・・とみなさん個性的ですよ。

最後は・・・もちろん、この個性豊かな9人娘。を引っばるリーダー・愛ちゃん。

「今回のツアーは、モーニング娘。のシングル曲を全て歌う Special Live です！こっから2時間一緒に盛り上がりましょう！」とメンバー1よく通る澄んだ声でファンに気合いを入れてくれます♪

そして、愛ちゃんから、先に発生した四川大地震の、被災者への災害義捐金協力を呼びかける告知がありました。先の昼公演レポに書きましたが、昼ではきちんと上手く言えてたのですが、この夜公演では・・・少し詰まり気味な所はあったものの、そこは真剣な眼差しで気持ちを切替え、呼びかけていました。

{・・・その募金箱は会場を出たロビーの4カ所ほどにBOXがあって、オイラを含め、多くのファンがこれに同意する形で寄付させていただきました。1日も早い復興をと思います・・・}

そして・・

愛ちゃん：「ではガキさん、よろしくお願いします！」

ガキさん：「それでは3曲続けて色っぽく参りましょう♪」

2人の声に見守られながら・・次の曲が始まる。

04. 笑顔YESヌード(32nd/2004.5 発売)

昨年発売された、ガキさんの艶っぽいヴォーカルが印象的なナンバー。よっすいのパートをえりりんが受け持つということで、GAKIKAME 2人がセンターに来る・・。色気を帯びた2人の声が溶け合って・・これも立派に成長してきた証だと思います。

05. 色っぽい じれったい(27th/2005.7 発売)

「早く逢いたい・・」と、この歌が娘。デビューとなった小春ちゃんゆかりの1曲。えりりんの色気に負けじと絡む2人に・・歓声が沸いています。フラメンコを踊る娘。もこの歌が発売された当時と変わらず新鮮で・・、彼女達のスゴさを改めて感じる1曲だと個人的に感じますね。

06. 大阪恋の歌(26th/2005.4 発売)

関西出身メンバー・みっついーのセリフ「いつも一緒やったから気付かへんかった・・」で始まるこのナンバー・・。彼女のアクセントが身近に感じるオイラとしてはめっちゃ嬉しいところです。ガキさんはやぐっちゃんの高音パート部分を引き継いでいて・・毎回聴くたびに色っぽさにちょこっと酔っちゃってますよ・・。不思議なモンですけど(笑)。

07. MC 2

ここではシングル1曲を採りあげて、その曲にまつわるメンバーの思い出や苦労話などを聞いていくコーナー。仕切る愛ちゃんがセンターに来て、それをれいなちゃんとガキさんの2人が挟むように全員ステージのひな壇に座っています。今回のテーマは、

『そうだ! We' re Alive』。

愛ちゃんが「何かある人!」と呼びかける・・。メンバーや一部のファンから「は〜い!!!」とともに挙手の山が・・。彼女の右横のガキさん、愛ちゃんをまじまじと見つめながら目で訴えかける・・。

ガキさん：「は〜い、はいはい!!!」

愛ちゃん：「じゃどうぞ〜!」

ガキさん：「あの、この曲は小物を持って踊ったじゃない? 携帯とかバッグとか・・ダンスレッスンで苦労したじゃない?? で、私はバッグを持って踊ってたんだけど、(PV)収録中に落としちゃって、私のせいで撮り直しになっちゃったんですよ。センパイ達からは「ちょっと〜新垣い!」って感じで怒られて、すごく落ち込んだんですよ・・。それでうちに帰って、飯田(圭織)さんに電話して・・謝ったんですよ。そしたら、
「あ・・実は私も落としたんだけど・・怒られなかったんだあ・・」
って言われて・・と、その思い出が濃いですね。

愛ちゃん：「そうですね、まあそんな時代があったから現在(の姿)があるんですね。」

ガキさん：「そうですね、ホントホント・・。」

・・と、2人懐かしい想いにふけりながらのトークでした。

愛ちゃん：「じゃあ次！」

再び場内に「は〜い」という声がこだまして・・・当たったのは最初に勢いよく手を上げた（きつとんの視界に入ったのかな？）れいなちゃんを指名する。

れいなちゃん：「“そうだ！We're Alive”は・・・、石川(梨華)さんがLiveなどで変顔付きでshoutする「Come On だ〜！」のマネできるんですよ〜！」
・・・ここで早速ステージに立って、そのマネをするれいなちゃん。

すぐにファンの歓声とともに、メンバーからは「似てる！」「似てる！」の嵐。ガキさんもこれにはナツクな感じで「わかる!!×3〜4」と。しかもれいなちゃん、梨華ちゃんの特徴であるアゴの部分も「出てたでしょ？」ってくらいに出してた(意識的に)みたいで・・・、それも合わせてみなさんには好評でした。たまに『ハロモニ@』などでもモノマネをしますが、ちゃんと研究してるというかヒラメキが良いのか、ちゃんと特徴を押さえてるんですよ。続けて・・・

れいなちゃん：「で、石川さんが卒業してから、この部分を誰が受け継ぐっちゃうか・・・
れいな、やりたかったっちゃ〜!!」

愛ちゃん：「今、出来たじゃん！めっちゃめっちゃ似てましたよ！」

れいなちゃん：「うん・・・(と言いつつも、)大満足です！好きです、このへん！」

愛ちゃん：「目ヂカラも強かったじゃん、ねえ〜！ まあそういうのをちゃんと受け継いで頑張っていきたいと思います！ ありがとうございますあ！
じゃあ次、いっちゃいましょうか〜！」

ガキさん：「それではココから・・・ちょいシブナンバーいってみよう！」

(・・・彼女の色気ある声、めっちゃ良いですよ。でも曲がかかるとすぐ、カッコいい表情へと変わります・・・。)

08. 悲しみトワイライト (33rd/2007. 4 発売)

このナンバーはまだ新しいコトもあり、みきてい pt をれいなちゃんが、そしてセリフ部分を愛ちゃんが受け持っているのですが、なんといってもロックに合わせての激しい動きがすごく印象に残ってますね。さすがにヘアスタイルはジャケットのようにはいかないまでも。ガキさんのダンスシーンは特筆モノなくらいシャープですよ〜(^)。)

09. Ambitious ! 野心的でいいじゃん (30th/2006. 6 発売)

最近のLiveでは定番かつ頻出のナンバー。一緒に手を振り上げ踊っていると・・・楽しいのはもちろんですが、メンバーの大変さがよく解るといえるか・・・スゴさに驚かされますね。あと・・・間奏前にガキさんが「い・く・ぜ〜!!」の部分が復活していて・・・めっちゃ嬉しかったです。あの部分でいつもテンション『うえうえ』になるので♪

10. 浪漫 -MY DEAR BOY- (22nd/2004. 5 発売)

ハードなナンバーが続く中、この曲が流れるとテンション上がりまくるんですよ〜。オリジナルを知ってるオイラにはちょっと懐かしさを感じるのですが、勢いはほんとに色あせてない印象ですね。ガキさんのパートが全体的に多いので・・・シビれちゃいます♪

11. Do it!Now(15th/2002.7 発売) <Vo. 高橋 愛>

ここからメンバーfeat.でのナンバー。まずは歌・ダンスともにトップレベルの位置に居る愛ちゃんから。オリジナルの振りでは無いものの、足がスゴイ所まで上がったってして歓声が沸いてました。愛ちゃんのソロというのは見る機会が多いですが、こうして見るとどんな状況でも貫禄あるんですね。スタイルもめっちゃカッコいいです。女の子のファンが憧れるくらいのオーラも放って・・・思わず凝視しちゃいますよ・・・(*^^*)。

そして歌のヤマであるRAP部分から、愛ちゃんと入れ替わる形で8人が四方から、それぞれのカラードレスで登場。そのまま・・・ガキさんを軸にステージ右方に移っていき・・・

12. Mr. Moonlight -愛のビックバンド-(13th/2001.11 発売)

「あ〜い〜を〜く〜だ〜さ〜い〜♪」

幼く、甘酸っぱい頃の(笑)ガキさんを思い出しますね。緑のドレス姿のガキさんがステージ右方でこのセリフを言ってるんです！すっかりオトナっぽくなった彼女ですが、やはり懐かしさを感じるんですね。これが“第一唱”なだけに・・・そして、今回のツアーで気になっていたこの歌の“男役”。予想できた人も多いと思いますがそう！真っ白な衣裳に身を包んだ王子様に扮した愛ちゃんだったんです！これはめっちゃカッコ良かったですね。でもってその王子様に一目惚れしてるガキさんの表情がこれまた良くて・・・ほんと愛らしかったですね〜(*^^*)。

13. ふるさと (6th/1999.7 発売) <Vo. 道重さゆみ>

さゆみん、そしてこの後に続く6期メンバーのソロ唱は、今ツアーの見所の1つでした。まずは、娘。を代表するこのバラードを彼女がステージ左に座って歌う・・・。始めのうちは緊張のあまり、音をハズしたりする場面が見られたのですが、回を重ねていくうちに自信もついてきたのか、すっかり自分のものになっている印象でしたね。これが次以降への大きなステップになるのは間違い無いと思いますよ。

14. 涙がとまらない放課後(24th/2004.11 発売) <Vo. 亀井絵里>

彼女、この歌が出た当初はガキさんとともに男役だったのですが、自身が持つ、可愛いトーンの声を生かして歌ってる姿は珍しくもすごく絵になるんですね。今まで見る機会があまり無かっただけに・・・。先述のさゆみん同様、こういう機会が良い自信になるといいなあ・・・って聴いてて感じました。

ただ・・・聴く側の方は途中叫んでる所がありましたが、個人的には静かに聴いてあげた方が良くと思うんですけどね・・・最初の頃は無かっただけに・・・。

15. Memory -青春の光-(4th/1999.2 発売) <Vo. 田中れいな>

6期の中で彼女だけは「キラキラ冬のシャイニーG」に代表されるソロナンバーがあり、娘。コンでもソロ唱の経験があるだけに堂々としてますね。この歌はFC限定のDVD「ベストショット」で、観覧車の中でも歌った懐かしい名曲。ここ1、2年でシングルでもメインに来る機会が多くなって・・・、こうした経験も手伝って、声の表現力(強弱や情感を込めたり etc)がすごく良くなってきていると思いますよ〜。

16. 真夏の光線(5th/1999. 5 発売) <Vo. 新垣里沙>

「Ah～この夏はあ～・・・♪」

と元気な声が場内にこだまする・・・。ツアー前半のヤマ場・ガキさんのソロ唱は10年隊ツアーでもあったのですが、ここまで明るい(しかもオリジナルはなっちソロ状態!)歌声が聴けるコトがすごく嬉しかったですね。ゴキゲンな彼女の表情とも相まって盛り上がりを見せていました!また、

「みなさ～ん!手拍子お願いしま～す!!」

と前奏の所で言うのですが、ほんとこの歌の彼女は・・・言葉で説明しきれないくらいの愛らしさでファンと一緒に楽しんでくれてる・・・そんな姿にただ、ただ脱帽ですね。

歌の後半にはここまでソロで歌ってきた4人も登場。順に笑顔で見送る姿もなかなか・・・心地よいものですね。捌ける時までずっと笑顔・・・。ソロ ver. のDVD が楽しみです(^)!

17. AS FOR ONE DAY(18th/2003. 4 発売)

歌い出しのさゆを筆頭にここから再び全員ステージに。Live では久しぶりの披露ですが、メンバーが変わってもお馴染みの綺麗なターンは素敵ですよ～。ちなみにガキさんはこのナンバーでもやぐっちゃんのパートを中心に多めです♪ここまで任されるようになる・・・Live の楽しみはほんと尽きない限りですね。

18. サマーナイトタウン(2nd/1999. 5 発売)

お次は懐かしいナンバーに。ちょうど娘。が5→8人になってからということもあり、今の9人娘。を見てちょっと懐かしく思いました。ガキさんの振りを見て、「この頃のセンパイ達に憧れていたんだあ・・・」としみじみ思っていましたよ。だって・・・、娘。メンバーにしてファンですからね～。この歌を歌える現在に感謝してるんでしょうね、きっと・・・。

19. MC 3 <亀井絵里&道重さゆみ&田中れいな>

6期メンバー3人のMC。回を重ねるごとに仕切りが上手くなった、でも会場によってはツッコミ満載の日もある感じのえりりん。テーマは1年366日・いろんな記念日があるということでトークとともに紹介する【今日は何の日】。前日17日の公演では、『命・絆の日』でした。3人はもとより、モーニング娘。にとっても絶対に必要不可欠で大切なものの話題になったのですが、今回は・・・何の日でしょうか??

れいなちゃん:「知らんっ!」

えりりん:「もうちょっと考えようよっ!」

さゆみん:「知ってま～～～す!」(と勢いよく手を挙げる。)

えりりん:「不正解ですっ!」

さゆみん:「まだ何も言ってませんけど・・・!」

えりりん:「だってど～～せさ、「私がカワイイ日!」とか言うんでしょ?」

さゆみん:「だいせいかい・・・!」

(なんかいつも以上に落ちついて、けどビックリした表情で語る・・・。)

れいなちゃん:「おおスゴ～い!」

えりりん:「もお～、全然嬉しく無いんだからあ～!」

れいなちゃん:「じゃあ・・・ヒント教えて!」

えりりん:「ヒントはですねえ・・・、今、使ってます!」

れいなちゃん:「・・・今・・・、わかった・・・??」

さゆみん：「え？このしぐさも・・・？」

えりりん：「じゃ・・・もう1コ行こう！」

れいなちゃん：「あ！待って、言わせて・・・！正解したらゴメンね！！」

えりりん：「いいよっ！」

れいなちゃん：（自分の顔を撫でながら）「ファンデーション！」

えりりん：「違いますっ！ じゃもう1コ・・・『今使ってる』のと・・・、手紙やメールで送ったりします！」

さゆみん：「笑顔じゃないの??」

えりりん：「笑顔じゃないです。相手に伝えるために何を伝えますか？」

さゆみん：「ああ・・・最後、答えみんなで言おう？」

・・・ここで客席の一部からも「あ～、解った！」とか「知ってる！」の音が・・・。
2人はそれにちょこっと迷いながらもれいなちゃんが解った様子で・・・2人で答える
コトに・・・。

えりりん：「せえ～の～！！」

さゆみん：「言葉あ？」 & れいなちゃん：「(か細い声で)マイク・・・」

・・・場内がれいなちゃんの解答に「え～～～???」のリアクション。
もう1度えりりんが確認するとさゆみんだけが「言葉」と解答。

えりりん：「(れいなちゃんは)ぜ～んぜん違いますね。はい、さゆが大正解で～す！」

さゆみん：「わ～い！」

れいなちゃん：「ファイナルやのに・・・じゃ編集でこうして・・・もう1回言わせて！」

(ここで会場が爆笑に包まれるも・・・もう1度答えをみんなで言うことに。

果たしてDVDではどのようなになるのでしょうか・・・??)

れいなちゃん：「解ったあ！」

えりりん：「せえ～の～！！」

さゆみん&れいなちゃん：「言葉！！Y e a h！！！」

えりりん：「やっぱりファイナルだからね。揃って・・・」

さゆみん：「6期の絆はスゴいね！」

れいなちゃん：「そうだね～！」

えりりん：「今日は5月18日、5,1,8の語呂合わせで・・・「言葉の日！」だそうです。

言葉ってすごく大事なので・・・みなさんちゃんと覚えておいて下さい！

それでは、今日がみなさんと私達にとって、とっても素敵な記念日となりますように。以上、亀井絵里の「今日は何の日？」のコーナーでしたあ～！」

★左袖に移動する3人・・・

れいなちゃん：「基本、モーニング娘。って雨女が多いよね??」

えりりん：「そう！」

れいなちゃん：「ロケの日とかって全部雨やもんね！」

さゆみん：「大事な日はなぜか雨ですからね～！」

3人：「ま、いっかあ～！」

えりりん：「では、賢くなった後は？」

さゆみん：「気分を新たに、久住小春・光井愛佳・ジュンジュン・リンリンが歌ってくれます！」

えりりん：「2003年2月19日に発売された、
”モーニング娘。のひよっこりひょうたん島“」
3人：「どうぞお〜!!!!」

20. モーニング娘。のひよっこりひょうたん島(17th/2003.2 発売)

<Vo. 久住小春&光井愛佳&ジュンジュン&リンリン>

小春ちゃんのハイテンションな声を先頭に Hi!Everybody~(Yeah!) ♪。真っ赤なチェックのミニスカートをはいた4人が登場！こちらは2003年に発売され、NHK「みんなのうた」でもオンエアされたコミカルなPVが話題を呼んだ娘。初のカバーソング。ただ・・・本来主役の小春ちゃんが歌い出しから何度か音程はずしていたのが少々気になっちゃいました。

21. モーニングコーヒー (Debut/1998.1.28 発売)

<Vo. 高橋 愛&新垣里沙&亀井絵里&道重さゆみ&田中れいな>

こちらはお姉さんチーム5人でデビュー曲を熱唱！この歌を5人で歌うコトは予想してたのですが、“ゴロッキーズ”揃ってというのはちょっと意表突かれました(笑)。でも表情とか可愛らしくて・・・この5人でリリースしてもいいくらい意気ピツタリだったと思います。あっ、ちゃんとハモりもありますよ～！

22-25. 娘。メドレー I

抱いて HOLD ON ME!(3rd/1998.9)→直感2-逃した魚は大きいぞ！-(28th/2005.11)→SEXYBOY -そよ風に寄り添って-(29th/2006.3)→女子かしまし物語(23rd/2004.7)
再び9人揃った所で最初のメドレーがスタート。最初はRAP部分から始まり、「直感2」ではアルバム“レインボー7”のmixバージョンでテンションうえうえ♪になっていき・・・場内が1つになりそうな勢いの所で・・・「ルーレットスタート!!!」

毎公演ルーレットでフィーチャリングするメンバーを1人決めるこの企画。
いよいよファイナル！ってコトで、昼公演の結果をふまえ、想像できた人も多い中・・・モニターに写ったのは・・・

【高橋 愛】!!

★愛ちゃん：♪♪アドリブめちゃくちゃ得意です MCセリフも即覚え～
本番直前変わっても 全然平気・・・じゃな～い!!!!(慌)♪

・・・ここでも元気でオチャメな愛ちゃん。というかこの歌詞を考え出した人は・・・ある意味天才ですね。歌の最後に彼女がグダグダになる表情も計算してるのですからなおさら凄いです！ちなみに今ツアーではみつついーとともにこの愛ちゃん分をなんと3回も見ることができたのですが・・・、毎回リアクションで壊れ気味の愛ちゃんが健気に見えましたよ～(^)。

26. Go Girl -恋のヴィクトリー-(20th/2003. 11 発売)

娘。コン、ハロコンを問わず、Live に欠かせなくなった元気なナンバー。一緒に踊っていると彼女達との一体感がすごく出てくるんですよ。ほんと虜になっちゃいますね。

27. MC 4 <新垣里沙&亀井絵里&ジュンジュン&リンリン>

今回の Live の楽しさ・嬉しさをジュンジュン&リンリンの2人が母国語で話し、それを GAKIKAME の2人が対話しながら和訳・解説するというもの。途中ガキさんも一緒になって覚えてたながら交えるシーンも…。こんな試みは娘。コン始まって以来ですね…。

…そして、いつものようにガキさん&ジュンリンコンビが握手するシーンでの会話。

えりりん : 「やっぱり、サブリーダー！はあなたしかいません!!アラガキさん」

ガキさん : 「いやいや…ニイガキですから！」

えりりん : 「この人…ニイガキだって…！」

※場内が昼よりもうんと大きな「え〜っ！」に包まれる(そりゃそうだわ…)

ジュンジュン : (えりりんを指して) 「いいかげんに…しろ！」

「ちょっといいかげんにしろ！絵里…！」

リンリン : 「このコーナー…、台湾(公演)に持って行くよ!!」

※ここで大歓声が上がる…。

→本ツアー、日本では終わりでも、台湾・韓国・そして上海での Live が残ってますからね。

ガキさん : (そっと笑みを浮かべながら) 「以上、同時通訳でお送りしました〜！」

28. THE マンパワー!!! (25th/2005. 1 発売)

Live で歌うたびにパート割りが変わってるような印象を受けるのですが、今回もそれで、よっすいーが抜けた分をガキさんが引き継ぐ形で愛ちゃんとともにリードしていく…。現在の娘。を象徴してますよね〜。

29. シャボン玉 (19th/2003. 7 発売)

6期メンバー初参加のシングル。発売からおよそ5年が経過する中、メインパートがそれほど変わっていない貴重なナンバーですね。もちろん、最初のれいなちゃんが歌う「愛する人はあなただけ〜!!」の所は推しによっていろいろ言い換えたりして…激しいけれどいろいろ楽しめるナンバーだと思います！

30. MC 5

「既に後半に入ってるんですけど、「あの曲まだですかあ??」って思ってたっしやる方も居ると思うんですよ。でも大丈夫です！ここからは・いろいろな曲をドドドド・!!!とメドレーにしてお届けしていきます！モーニング娘。のコンサート史上最も長いメドレーでお楽しみ下さいい〜！」と、まず愛ちゃんが登場して気合いを入れる……。除々にメンバー全員が揃い、まだまだ元気な客席の方を見ながら手を振る人あり、アイコンタクトありとメンバーそれぞれスッキリした表情で出迎えてくれる……。

続けて愛ちゃんが、「途中で「あ〜疲れちゃった！」とか「ちょっと座りたい……」と思ったら、座って楽しんでいただいても大丈夫ですので……！」と、どんなスタイルでもいいから『みんなで楽しもうよお〜!』と誘われてる感じで(一部では「え〜っ!」って声も挙がりましたが)これぞLive だなんて感激してましたね。うなずくメンバーも居て……いよいよ、メンバーとの” 体力勝負” は佳境に入ります！

31-36. 娘。メドレーII

I WISH(10th/2000.9 発売)→ハッピーサマーウェディング(9th/2000.5 発売)→恋のダンスサイト(8th/2000.2 発売)→そうだ！We're ALIVE(14th/2002.2 発売)→ザ☆ピース(12th/2001.7 発売)→恋愛レボリューション 21(11en/2000.12 発売)

確かに「長っ(汗)」と今考えれば思うのですが、Live だと不思議とあまり長くは感じなかったですね。それにしてもファン歴かなり長い(ってか最初の頃から^^)ですが、ちょっと曲を聴くだけで……体って覚えているモンなんですよ。多少の変化はちゃんと現場についていってる感じで……。個人的には昔よりも現在の方が体力とかちゃんとついてるんだ……ってのがほんとに実感できるんですよ〜。やっぱ行き慣れてるというのもあるんでしょうか……。ガキさんも過去ソングながらちゃんとメインというカリードする側に回る歌が多くて……。ほんと娘。メンバーでありファンでもあるので……。きっと歌い踊りながらその嬉しさを感じているコトでしょうね。そして……、

18日昼公演の**約束**(“ザ☆ピース！de うさちゃん☆ピース!”)。昼はガキさんくらいしか一緒にやらなかったのですが……。このファイナルの夜ではなんと！愛ちゃんやえりりんなど……(覚えている限りで)過半数以上が一緒になって”**うさちゃん☆ピース!**”をやりました。

37. MC 6

長大なメドレーの後ということでオイラも2階席ながら、結構スペースと周囲のノリに負けじと汗だくになりながら踊ってましたが……。日頃からそれなりに鍛えてはいたこともあって、それほど息切れとかしてません。それよりもスゴいのは彼女達。女の子なのに、激しい振りの後もない彼女達のスゴさを感じながらさらに気合いが入って……。いよいよラストスパートに突入です♪

38. ここにいるぜえ！(16th/2002. 11 発売)

直前に「私たちは今・・・ここにいるぜえ！」とお馴染みの気合い入れで始まるこのナンバーは今回の全 36 曲中で一番多くジャンプしたナンバーです！でもって・・・やはりファイナルということで、ステージ上に仕掛けられたスモークが焚かれて・・・イッキに会場のテンションは頂点に達していきました。1階はもとより、オイラの居る2階でも、メンバーのかけ声に反応して激しくジャンプする人多数でした。もうここまで来れば・・・「体果てるまで」動き回りたい、そんな気持ちでいっぱいでしたね。

39. みかん(35th/2007. 11 発売)

そんなハイテンションをそのまま引きずり・・・小春ちゃんの「みかん行きます！」の声でさらに増幅効果のあるナンバー。思えば昨年秋のツアー、この会場でのガキさん生誕祭に初披露され、この現場で覚えた記念の曲。初回も、そしてこのファイナルコンでも、会場内で(個人的に)イチバン揃ってたような気がしました。右手を高々と挙げて、跳んで、動いて・・・とまさに娘。コンの醍醐味をイッキに味わってる印象ですね。個人的にもめっちゃ×2好きな1曲です。

40. 歩いてる(31st/2006. 11 発売)

楽しい時はあっという間に経っていった、そんな気持ちを抱きながら、全 36 曲中、オイラが彼女達から一番元気をもらった大切なナンバーに。「一人じゃないから・・・」、「みんなが居るから・・・」など、しみじみと聴きながら歌詞1つ1つをじっくり味わって聴いていると、「ほんとにみんなと出会えて良かったなあ・・・」って思うんですよ。そんな心暖まる歌とメンバー9人が寄り添う姿を見て・・・ちょこっと目がウルウルしてきましたね。

歌の終わりにはみんなの笑顔に温かい拍手を送るファンが除々に出来てきて・・・これも素敵な光景だったように思います・・・。その拍手と大歓声に見送られながら、彼女達がいったん捌けていきます・・・。

ステージが暗くなり、すぐさま2階席で真っ先に「アンコール！」とオイラが叫んでみました。今回のツアーでは極力「真っ先に叫ぼう！」と思い実行しているのですが、いつもはなかなか揃わない感じのもどかしさを感じる中・・・、何度も言ってるうちに周囲から、そして1階からも聞こえてきて・・・、その声は彼女達へエールを送るかのようになんて徐々に1つになって、会場内に何度も響き渡っていきました・・・。そして・・・、

Enc01. MC 7

「Y e a h～！」とステージの証明とともに明るい声が響き・・・、ステージには再び、**ガキさん**→**ジュンジュン**→**みっつー**→**さゆみん**→**れいなちゃん**→**小春ちゃん**→**えりりん**→**リンリン**→**愛ちゃん**の順に並んで登場。衣裳はガキさん、ジュンジュン、リンリン、みっつーの4人が**ピンク**の、残りのメンバーが**スカイブルー**の、名前入りTシャツを着て(下はデニムのスカートやキュロットだったりで・・・)登場。でもってオイラは、先の大坂公演から使い始めた特製の**うちわ**(こちらは 5/19 の日記を参照してください♪^^)と、「**ありがとう!**」と書いた黒いボードを直列に持ってみんなの姿を拝見してました。

まずは愛ちゃんから、「温かいアンコールありがとうございます！」と言・・・。歓声が沸く中、続いてガキさんから「・・・残すところあと2曲となりました～！」があると「え～～～!!!」と場内が沸く。続けて・・・、

「ありがとうございます。モーニング娘。の歴史を感じる約2時間、ホントにみなさんの温かい応援のおかげ素晴らしいファイナルを迎えることができました！みなさんと創りあげたパワーを、アジアツアーに持って行って、また一つ・成長して帰ってきたいと思います!!!! 本当にもうありがとうございます！新垣里沙でしたっ!!!!」

と気合いの入った素晴らしいコメントが特に印象に残りました。確かに国内では今日がラストですが、台湾・韓国・上海と、新天地での彼女達のステージを通して、得るものもうんとあると思うので・『成長しつづけるモーニング娘。』を「これからも応援していかなきや・!」と心にそっと刻みましたね・。サブリーダーらしいコメントにただ、感動でした。他のメンバーについてもそれぞれに感謝の気持ちや、「Liveって楽しい!」とか、僕達ファンとの”大切な時間”をすごく大事にしてくれて・一人一人聞いててすごくうなずいてましたよ〜。そして・リーダー、愛ちゃんの番に・。

「これからも、日々成長しつづけるモーニング娘。に期待してして下さい！今日はもうありがとうございます！高橋 愛でしたあ〜!!!! それではラスト2曲、**完全燃焼**で参りましょ〜!!」

Enc02. 愛あそば IT'S ALL RIGHT (21st/2004.1 発売)

ここで曲の冒頭で奇跡が・。なんと、MCの時からずっと出していたうちわにガキさんが気付いてくれて・伴奏の所で大きくこっちを見て手を振ってくれたんです!!! オイラ、嬉しさのあまり涙が出てきました・。その涙の中、娘。ソングの中で歌詞1つ1つがすごく惹かれるナンバーを耳にしていました・。娘。のこれから先の旅立ちを祈る歌と言ってもおかしくないと思います！これだけ多くの娘。ソングを聴いているとホントにその時その時の様子などをおぼろげながらも頭の中をよぎりながら・。

Enc03. LOVE マシーン (7th/1999.9 発売)

長かったツアーもいよいよ終盤、10年以上の活動の中で最も売れたメガヒットナンバーが大トリに。昨年暮れの紅白以来続く、ガキさんの「ディーア〜!!!!」や、娘。ダンスソングの“原点”ともなったあの振りは、発売から約9年経っても色あせることなく続いているんですね。まさに娘。の歴史の長さを本当に感じます！そしてここでは・、ラストの所でステージ前方の両脇に設置されたミニ・バズーカ砲から銀テープが飛び出し、Liveは最高潮を迎えました！（ただ・テープの残骸がステージおよび収録カメラのレール付近に散乱して・メンバーやスタッフさんがちょっと動きづらそうでした・）

「もうありがとうございます！モーニング娘。でしたあ〜!!!!」

最高の歓声と、9人の笑顔でこの上ないくらいのテンションに包まれて・左に右にステージ上で挨拶するメンバー達・。そして全員でバンザイをして、捌けていくメンバー一人一人の笑顔をしつかりと見届けていきました。そして、今回のツアーで最も象徴的なこのシーンに・。

ガキさん :「楽しかった人お〜？」

オイラを含むファン :「は〜〜〜い!!!!」

今ツアーで一番素敵な、ガキさんスマイルを目に焼き付けながら手を上げて叫ぶ自分を含めファンの視線を受け・・・彼女が最後に捌けていきました。しかし、この日の熱気はこれで収まるはずも無く・・・、場内が明るい中聞こえるアナウンスをかき消すような最高のテンションと大きな拍手に混じって聞こえる「アンコール!!」の波・・・。ちょうどオイラが叫び出した頃あたりから除々に大きくなっていくのが解りました。

場内は日曜ということもあり、帰りの電車を急ぎ、抜け出す人も居ます。でもその中で、「もしかして何かがある・・・??」とかすかな期待を信じながら・・・、みんなの彼女達への愛情はまさに1つになって、「アンコール!!!!」「アンコール!!!!」と叫んでいます。そして・・・、どれほどの時間が経っていったか忘れし頃・・・、ステージの照明が明るくなって・・・

「ありがとうお〜!!!」

先に聞こえたのは・・・ガキさんの声だったような記憶が・・・、そうです！ファンの『願い』はしっかりと9人に届いていたんです！過去10年ツアーに参戦してきて、こんなコトはホント、初めてです！三たび、9人娘。がステージに登場しました!!!
(さゆみんだけは遅れて右袖から登場) これにはオイラもビックリ!!&感動!!でした。

ガキさんほか、他のメンバーも「Yeah〜!!!」と僕達の歓声や応援にしっかりと応えて下さってます！まずは愛ちゃんが代表して・・・、

「ホントにこうやって最終日を迎えられたのは・・・ホントにホントに応援してくれるみなさんのおかげです！どうもありがとうございます〜す！」

愛ちゃんの隣では感動のあまり、涙に濡れて半泣き状態のガキさんが居て・・・(ちょうどモニターにそれが映し出されて・・・オイラも涙してました・・・)、愛ちゃんが他のメンバーに「ほら、好きなコトやって！」と促す。小春ちゃんが「Yeah!×2」、れいなちゃんが「おつかれいな〜!」、みっつイーが「おおきに〜!」と返す。そして・・・、

「というワケでホントにありがとうございましたあ〜!!!
みんなまたどこかで逢いましょう！バイバイ!!!!!!」

メンバー中一番声がよく通る愛ちゃん voice が響き渡る・・・。そして・・・涙も収まった、超元気でカワイイ！サブリーダーがもう1度・・・、

ガキさん : 「最後に・・・、楽しかった人お〜?」

オイラを含むファン : 「は〜〜〜〜〜い!!!!!!」

これこそ真の”サプライズ”であり、ファン1人1人が起こした”ミラクル”ですね。そんな達成感と「ハッピーエンド」という名の感動な雰囲気にも包まれながら、ファンとメンバーの声が交互に聞こえて・・・それに見送られ、1人1人手を振りながらメンバー達が捌けていきました・・・。その際、ガキさん：「体、汗ちゃんと拭いて帰ってね！」と僕達ファンを気遣う言葉を掛けてたコトも・・・しっかりここに記しておきます。

メンバー達が居なくなっても・・・割れんばかりの拍手と押しメンへの叫び etc は止まらず、メンバーが捌けていき・・・後はテンション高めに、「おつかれいな～」から「娘最高！」まで・・・余韻に浸りながらのコールがいつまでも続いていきました・・・。



【Epilogue】

今こうして思い出しながら書いてても、まだ昨日のここのように、涙が出てくるくらい感動的なファイナルに参加できたコトに、1ファンとして誇りを感じています。コンサートの中身もちろん『言うことナシ!』でしたが、ラストのラストでこんな超!大きなサプライズが・・・とは思ってもみなかったし、何より、あの時あの場所に居た約2,000人のファンみなさんと、こうした『歴史的1ページ』を作ることが出来たコト・・・すごく感謝したいです。終わってから、オイラもちろんその"奇跡"を信じて、終わってからもずっと残って叫んでましたが・・・、1ファンとして忘れられない1日・公演になったと思います。やっぱりファンの力ってめっちゃ大きいなって感じますよ～。

そして・・・ツアー本編に話を戻すと、『1人1人の成長を感じるツアー』だったように思います。娘。10年の活動で生まれた36枚のシングルを歌うということで、みんなにとっては「初モノ」だったり挑戦があったりして・・・短いリハの間に大変だったと思います。何より、センパイが残していった財産をこうして歌うコトが希少ということで、凄いプレッシャーもあったと思うけど、初回の松戸からラストの東京厚生年金までのほぼ1/3に参戦してそう感じたんです。最初は声が思うように出せなかったメンバーも、次第に自分に自信が持てるようになってきて・・・、というように、**努力して成長する**点は、10年前にデビューした時の娘。と「変わらないモノ」なんですね。メンバーの顔は変われど、**どんなコトにも食欲な所、頑張る所**は何より彼女達の誇れるステータスだと思います。ガキさんがアンコールのMCで言ってたように、「・・・っまた一つ、成長して帰ってきます!!!」。この向上心がすごく好きなんですよね。

あとは、ハードな内容ゆえの不調や、みつついーの欠席による8人娘。ステージもありましたが、ホントにみなさん、**”満身創痍”**と言ってもおかしくない状況下のもと、笑顔を絶やさずに元気に頑張ったと思います。ファンにとってはその笑顔こそが元気の源になってるワケですから・・・めっちゃ嬉しいし、**感謝**ですね。これからアジアツアーやミュージカルなど、大きなイベントが控えてますが、この9人娘。ならどんなコトも乗り切っていけるはずです。僕達ファンもそれにしっかりとついて行くので、ぜひとも頑張ってください!!!!

最後に・・・こんな超なが～いレポにお付きあいいただきありがとうございました。そして、5/17, 18と現地 etc でお会いした方&メンバーに心から・・・「**ありがとう・・・!**」。

p. s. 今回2度目の「**アンコール!!**」に応えてくれて・・・、”**感動の奇跡**”のきっかけを作ってくれたガキさん・・・、「**本当に、本当に・・・ありがとうございますあ!!!!**」
→これはポケモニのツアー日記を見て・・・さらに”**サプライズ**”でしたよ!!

ガキさん&メンバーからの**愛**は・・・ちゃんと自分の中に、受け取っておきますよ!